



社会を明るくする運動 作文コンテストで 松本くんが全国表彰

“社会を明るくする運動”の一環として行われる作文コンテストにおいて、松本康佑さん(有家小6年)が日本更生保護女性連盟会長賞(小学生の部)の全国表彰を受賞しました。作文では「気づく、考える、行動する」をテーマに、夏休みのキャンプ時のエピソードを通して「行動する」ことのむずかしさ、大切さを訴えています。



深江・布津ライオンズクラブが 車いす3台を市へ寄贈

12月14日、深江町のザ・マーキーズで贈呈式が開催され、深江・布津ライオンズクラブの隈部 恵会長から市長へと手渡されました。寄贈された車いす3台は、布津町にある火葬場「布津桜苑」を利用する人たちのために使われます。



防災の決意を新たに ～消防出初式～

1月5日、ありえコレジヨホールで南島原市消防出初式を開催しました。式では、南島原市消防団の大山秀孝団長が団員に向け「これからも消防団員としての資質の向上に努めていただきたい」とエールを送りました。式典後はイオン有家店で分列行進、有家漁港で放水訓練(一斉放水)を行い、今年1年の安全を祈願しました。



旧山口小学校で鬼火たき

1月7日、平成26年3月に閉校した山口小学校運動場で1年間の無病息災を願った鬼火たきが行われました。人口減少などにより各地で継承が難しくなる中、この地域では100年以上継承されています。集まった約80人の地域の皆さんは、子どもたちの書初めやしめ縄、門松を火にくべていました。また、地元のお米を使った七草粥やぜんざいが皆さんの身体を温めていました。



新成人530人が 二十歳の新たな門出

1月4日、ありえコレジヨホールで平成29年南島原市成人式を開催しました。市内で530人が成人を迎え、そのうち471人が式に臨みました。式では、北有馬町の松本隆志さんが代表で成人証書を受領しました。また、新成人を代表し、口之津町の内田嗣大さんと有家町の中村明香里さんがそれぞれ二十歳の誓いを述べました。



中国の中学生が 南有馬中学校と学校交流!

1月16日、中国広東省の東莞長安実験中学校修学旅行団61人が本市を訪れ、海外からの修学旅行生としては初めてとなる学校交流を南有馬中学校の生徒と行いました。はじめはお互いに緊張した表情でしたが、中国語で行ったじゃんけん列車やダンスを通して笑顔を見ることができました。交流後は昼食を一緒に食べながらコミュニケーションをとり、最後はハイタッチでお見送りするなど貴重なひと時を過ごしました。旅行団は15日の午後から本市の農林漁業体験民泊を体験しており、南島原市を満喫して次の目的地に向けて旅立ちました。



夢・手づくりふれあい祭り実行委員会 深江町産業まつり実行委員会から 熊本地震被災地に義援金

12月15日、かづさ夢・手づくりふれあい祭り実行委員会の皆さんが市長を訪問し、11月の祭りの際に集めた義援金を熊本地震の被災地へ届けるため市へ寄託しました。義援金を預かった市長は、「皆さんの想いを被災地へ届けます」と感謝を述べました。義援金は、本市を通じて被災地へ届けられます。また、深江町産業まつり実行委員会からも義援金の寄託を受けました。

